

コシヒカリの穂肥は幼穂 1cm が目安！ ～「出穂期」に向けて湛水管理と カメムシ対策の徹底を！～

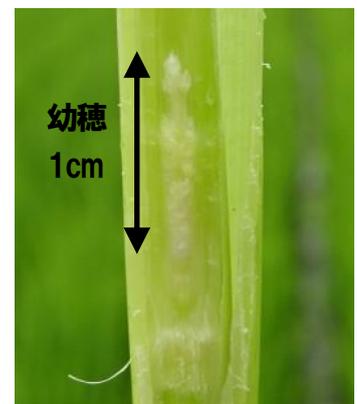
1. 現在の生育と穂肥の時期、量

5月中旬～6月上旬の低温により生育は抑制傾向でしたが、6月中旬の高温により、生育は回復し平年並になっています。

【穂肥施用日の目安(速効性肥料の場合)】

田植時期	地帯	1回目	2回目	出穂期 見込み
5月上旬植	湖辺平坦	7月7日	7月21日	7月25日
	中山間	7月12日	7月19日	7月30日

- ・穂肥の基準施用量は1回目、2回目ともに窒素成分で2kg/10a。
- ・1回目は出穂18日前(幼穂1cm)、2回目は中山間で出穂11日前、湖辺平坦で出穂4日前に施用しましょう。
- ・有機質肥料の場合は、肥効が出るまでに時間がかかるので3日程度早めに施用しましょう。
- ・葉色が濃い場合(葉色板3.8以上)や過繁茂の場合は、1回目の穂肥を遅らせ、施用量も減らしましょう。



【全量基肥栽培の場合】

夏期に高温となった場合は、出穂期から穂ぞろい期に窒素成分で1～2kg/10aを追肥しましょう。

⚠️「環境こだわり農産物」認証基準に注意しましょう⚠️

- ・環境こだわり農産物の栽培に取り組まれている方は、栽培期間中の**化学肥料の窒素成分量が4kg/10a以下**になるように穂肥を施用してください！
- ・有機質肥料の場合は、以下を参考にしてください。

<有機質肥料の施用例>

肥料名(チッソ-リンサン-カリ)	窒素成分2kgの施用量
有機アグレット674 (6-7-4)	33kg/10a
有機アグレット727 (7-2-7)	30kg/10a
有機アグレット844 (8-4-4)	25kg/10a
オンリーユーキ (6-6-4)	33kg/10a

2. 出穂前のカメムシ対策！



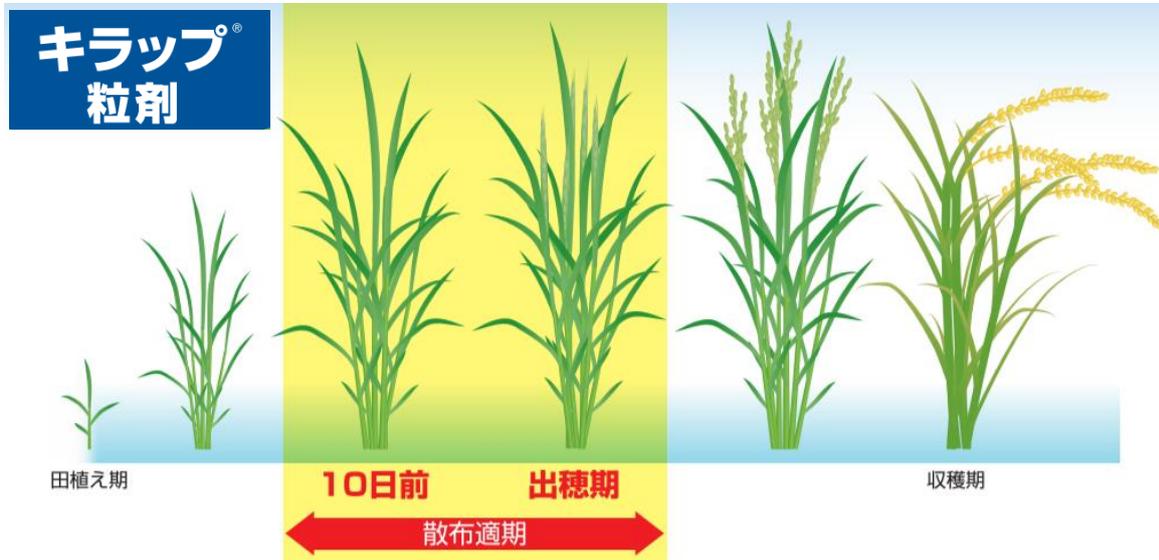
畦畔の2回連続草刈

- ・斑点米の原因となるカメムシ類は、ヒエ等のイネ科雑草の穂を好み、畦畔に集まります。
- ・そこで、**イネの出穂3週間前（7月4日頃）と出穂期（7月25日頃）に2回草刈り**を行い、イネ科雑草の出穂を抑制してカメムシ類を寄せ付けないようにしましょう。



カメムシ薬剤防除

- **キラップ粒剤**によるカメムシ防除を行う場合、**散布適期は出穂10日前～出穂期**ですのでご注意ください。
- ※キラップ粉剤DL、フロアブルは出穂7～10日後頃が適期になります。



(バイエル クロップサイエンス株式会社「キラップ粒剤」技術資料 抜粋)

- 散布時は湛水状態(3～5cm)とし、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。

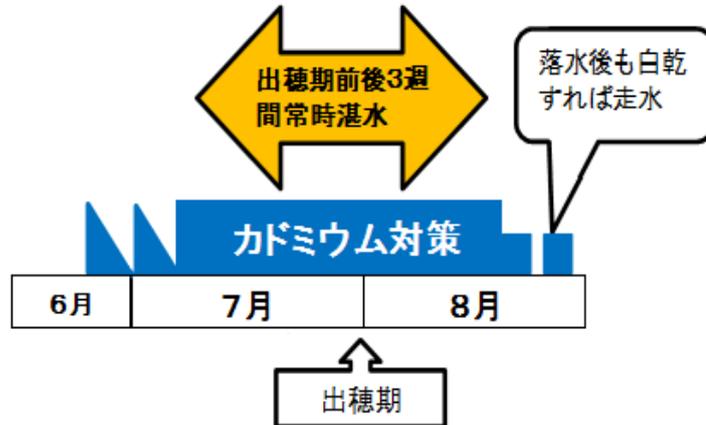
3. いもち病の発生に注意！

- 6月下旬から葉いもちの感染好適日が多く出現し、本田での発生も確認しています。今後の発生状況に注意いただき、葉いもちが発生しているほ場では、穂いもち防除を実施しましょう。



4. 出穂前後各3週間は「湛水管理」を確実に

- ・湛水管理は米の品質向上とカドミウムを吸収させないために重要です。
- ・排水口を閉じ、かけ流しをせず、田面が露出しないように管理しましょう。



※5月上中旬植での水管理のイメージ
(コシヒカリ)



《熱中症に注意:作業中は、
塩分・水分補給と適度な休憩を!!》

～農業情報の配信について～

しらせりしがの安全・安心情報
しらせりしがメール
しらせりしがLINE

- 滋賀県では、台風等の気象災害や病虫害の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントなどを配信しています。
- 詳しくは、以下滋賀県ホームページをご確認ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



しらせりしがLINE

- 左の二次元バーコードから「しらせりしが」を友だち追加することができます。
- 「農業情報」の受信には設定変更が必要です。登録変更画面から、「お知らせ」の中の「農業情報」を受信する設定に変更してください。



Facebook「らくのうる湖北」

- 湖北地域の農業情報や地域農業の魅力をFacebook・Instagram「らくのうる湖北」で発信しています。

Facebook

<https://www.facebook.com/lacnord.kohoku.nogyo/>

Instagram

<https://www.instagram.com/kohoku.miryoku.hassin/?hl=ja>